

事務事業名		議会広報支援事務		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																															
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																															
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の確立																																	
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進																																	
根拠法令		地方自治法123条		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 01 01 01 03																															
所属	部課名	議会事務局																																	
	課長名	金野敏夫																																	
	係名	議事係	電話 27-3111 内線 240																																
担当者		山下浩幸																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 定例会ごとに、議員の編集により議会だよりを作成し、市内全戸等へ配布(年4回)している。印刷契約、原稿の校正・編集・写真撮影、発注、全戸配布のための市内作業等において、事務局職員が支援している。 また、会議録を作成し、市ホームページの会議録検索システムに掲載している。システムの管理運営は、業者に委託している。 さらに、市民がより気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようにすることで、「開かれた大船渡市議会」のイメージアップとともに、市民にとって議員活動を理解する一手段となり、議会に対する関心が深まることを目的に、平成25年度から市民ホールで、また、27年6月からインターネットでの議会中継を開始した。議場放送・映像中継設備の保守を業者に委託している。																																			
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計(A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0			トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																																	
		都道府県支出金																																	
		地方債																																	
		その他																																	
		一般財源																																	
		事業費計(A)	0																																
人件費		正規職員従事人数																																	
		延べ業務時間																																	
		人件費計(B)	0																																
		トータルコスト(A)+(B)	0																																

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

- ・議会だよりを定例会ごとに作成し、市内全戸へ配布(年4回)。
- ・会議録の作成、会議録検索システムの管理運営等。
- ・市民ホールでの議場中継の実施。インターネット中継の実施を検討する。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

- ・議会だよりを定例会ごとに作成し、市内全戸へ配布(年4回)。
- ・会議録の作成、会議録検索システムの管理運営等。
- ・市民ホールやインターネットでの議会中継の実施。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

(直接の対象) 議会だより編集委員会
(間接の対象) 市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

編集委員会の編集、発行がスムーズにいくように支援する。
市民に議会の活動が速やかに、かつわかりやすく伝えられる。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

計画的に質の高い行政運営がなされている。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 発行回数	回
イ 会議録の作成	回
ウ 議会中継	回

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 議会だより編集委員数	人
キ 人口	人
ク 議員数	人

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 予定日に発行できた割合	%
シ 会議録のHPへの掲載率	%
ス 議会中継の実施率	%

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	3,004	3,612	3,726	4,763	5,615	5,300
			事業費計 (A)	千 円	3,004	3,612	3,726	4,763	5,615	5,300
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	220	200	200	200	200	200	
		人件費計 (B)	千 円	880	800	800	800	800	800	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	3,884	4,412	4,526	5,563	6,415	6,100	
⑤活動指標			ア	回	4	5	4	4	4	5
			イ	回	35	35	35	39	41	30
			ウ	回	4	4	7	18	38	30
⑥対象指標			カ	人	8	7	7	7	7	7
			キ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,167	38,167
			ク	人	25	20	20	20	20	20
⑦成果指標			サ	%	100	100	100	100	100	100
			シ	%	100	100	100	100	100	100
			ス	%			25	100	100	100

事務事業ID	0758	事務事業名	議会広報支援事務
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
議員の生の視点で、議会の活動状況を伝える「議員手製の議会報」を発行したいという提案が有志議員からあり、議会だより発行規程を設けて、編集を開始。会議録については、議会制度の導入とともに、開始。検索システムは、平成17年度から導入。また、議会活動の活性化を図る議会改革特別委員会での討議の結果、本会議等の公開を推進する目的で、平成26年1月から市民ホールで、平成27年6月からインターネットでの議会中継を開始した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
昭和62年創刊以来、市議会だより発行規程に基づき、議員手づくりによる編集発行を行っている。 会議録は、冊子として印刷し、議員に配布するとともに、18年3月からは市ホームページに掲載し、インターネットでも閲覧可能になった。 議会中継については、市民が市民ホールで、また、パソコンやスマートフォンでより気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようになった。 全国的に、議会の運営や透明性の確保など、議会改革の機運が高まっており、議会のインターネット中継など、様々な取り組みが各地でなされている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
紙面についての市民の意見はそれぞれあると思うが、編集委員会の業務を議会事務局職員が支援する事業については、特になし。紙面についても、編集委員が、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを行っている。市ホームページへの会議録の掲載や議会中継については意見は特に寄せられていないが、市民にとって議員活動を理解する一手段となっており、議会に対する関心が深まることが期待できる。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	市議会の活動を、議員自ら市民にわかりやすく伝えようとする活動に対し、議会事務局が支援することで、より市民の理解度が増し、ひいては市民参加の推進につながる。会議録を広く市民が閲覧したり、気軽に議会の様子を視聴できることにより、議会活動に対する市民の関心や、意識も高まる。
	② 公共関与の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	議会事務局の職員が議会だよりの編集作業等を支援したり、会議録の公開・議会中継に係る業者との調整等を行うことにより、議会の活動を市民にわかりやすく情報提供することにつながり、市政に対し、市民も身近に感じ、ひいては市政に関心をもってもらうことができる。また、議員意識も一層高まり、自立した行政経営に、役立つ。
	③ 対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	議会だよりについては、発行回数、ページ数、編集委員会の開催、編集委員会の人数、支援業務に対する職員の従事時間数など、おおよそ適当な規模や回数で行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	編集委員会の業務は、現在より増やすことは、困難である。 会議録の公開・議会中継については、市民に会議録が広く閲覧されたり、議会の様子が視聴されたりすることにより、議会活動が一層充実したものになっていくと思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☒ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	議会だよりについては、議員で構成している編集委員会だけでは、編集から、校正、発行までの業務をすべて行うことは困難である。会議録の公開や議会中継についても含めて、これらの事務を廃止すると、市民が議会活動に触れる機会が大幅に減少し、ひいては議会活動の低下を招く。また、情報量も少なくなり、議会活動が時代に即応しないものになっていく可能性がある。最終的には議会の機能事態が、低下していくものと考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ホームページへの掲載事業も考えられるが、インターネットは紙面と異なり、全市民に届けることは困難である。また、市の広報とは、異質なものであり、統一は困難である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではなく、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議会中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	議会だよりの編集は議員が主体となって行っているほか、職員は実際に議場で審議の状況を見聞きして、その状況に応じて、編集、校正の支援をしており、外部委託は適当ではない。会議録の公開・議会中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、人件費の削減の余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	議会だよりについては、議員が主体的に行っているとはいっても、議員だけで発行まですべて行うことは困難であり、その支援を行っているという点で、広報を読む市民にとっても、支援を受ける編集委員にとっても妥当な状況ではない。会議録の公開・議会中継については、市民に会議録が広く閲覧されたり、議会の様子が視聴されたりすることにより、議会活動が一層充実したものになっていくと思われる。

事務事業ID	0758	事務事業名	議会広報支援事務
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 議会だよりについては、年4回という発行回数、発行期日を守り全戸配付することにより、市民に議会の活動を速やかに伝えることができた。 会議録の作成については、概ね次の定例会までに前回定例会分をHPに掲載できるようになった。 平成26年2月から市民ホールで、27年6月からはインターネットでの議会中継を開始し、市民がより気軽に会議の様子を視聴できるようになり、広報の充実を図ることができた。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) より多くの市民に議会活動を理解していただくため、今までの取り組みのほかに平成27年6月からインターネットでの議会中継を開始した。また、議場に実際に足を運んで議会傍聴する市民の増加を目指す。現在、インターネットでの議会中継や会議録のホームページ公開は議場で行う本会議、特別委員会となっているが、今後は常任委員会や全員協議会の公開を検討する必要がある。 また、平成28年度は行政視察や会派視察の報告書のHPへの掲載など、ホームページのさらなる充実を図る。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 議会傍聴者の増加のためには、議会に対する興味を持っていただく必要がある、そのためには、議会だより紙面の工夫やホームページの充実などの広報が重要となってくる。																																	

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	議会事務局長 金野敏夫

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 議会広報のあり方については、その方法や内容の充実等、不断の見直しを継続し、常に市民に開かれた議会への努力を要する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項